

1979年6月30日

# 談話会通信 No.28

東京蜘蛛談話会

夏の観察・採集会	-----1
きまぐれボスト	-----2
談話室・会計報告	-----次号
けいじばん	-----8

## ◎新入会員

- ・早乙女 薫 〒187 東京都小平市小川町 1-502-95  
都立小平西高等学校内
- ・神子島 敏 〒187 東京都小平市上水南町 503

## ◎住所変更

- ・斎藤 博 〒326 栃木県足利市旭町 3-772
- ・松井 均 〒314 茨城県鹿嶼郡鹿嶼町大字宮中字伏見 4448-2  
清真学園住宅 4-9
- ・大利 昌久 Masahisa OURI, MD  
% Embassy of Japan  
Wabera St., Nairobi, KENYA  
P.O. BOX. 60202

## 夏の観察・採集会 7月29日(日)

日時：7月29日(日) 10:00 A.M.

集合場所：国鉄横浜線 横本駅前(八王子から3つ目)

観察採集場所：津久井 城山

持ちもの　昼食　採集用具　筆記用具など



### 一連絡先一

高橋 登 044. 288. 2921

松浦 祐司 044. 422. 2842

# きまぐれ ポスト

► 松本さんより

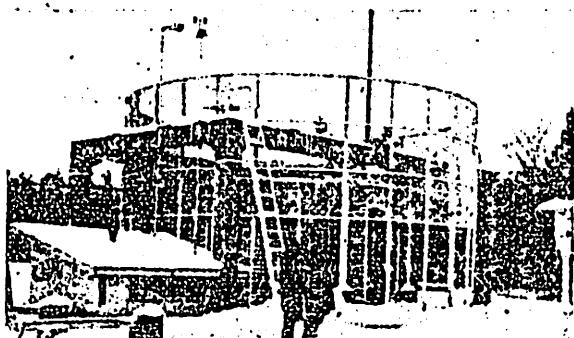
「巴の糸が望遠鏡  
による観測に利用  
されている」という記事  
をいただきました。



これは少し我田引水になるかもしませんが、日本の観測者の優秀性の第一としてあげられることは、いわば生真面目な几帳面さということではないでしょうか。水沢の観測が緯度の観測でいつも優位に立つてるのは、非常に着実に計算結果に対するチェックする態度にあると思います。それからこれはよくいわれるところですが、手先が器用であることも特徴の一つとしてあげられるでしょう。当所に木村先生の時代から三〇年近くもおられる平三郎氏は昨年、科学技術庁からも岩手県の代表として表彰をうけましたが、ここでの工

日本の観測と世界の観測

日本の観測者



観測所は雪で白くおおわれていた。建物は風除けで囲まれた浮遊天頂儀室。(写真是いすれも後藤當男氏撮影)

り方については、木村先生の『観測心得』にもくわしく書いてありますが(木村・天文観測心得、一八五〇一八七ページ、物理実験学所収、河出書房、一九四〇年)、クセと云はる子供に近いものを山に行つてさがしてきて、これが果を張る前にくるちょうどカリコのまゆを小さくしたようなものから、一本一本糸をとり出してよりもどすのです。これをレコードの針でガイドしながら望遠鏡の視野にはりつけるコツなど、非公開な部分も多いのですが、この技術はドイツあたりの流れをくむものらしく、木村先生がもつてこられたものだと思います。

くにクモ  
スがきを  
かけてお  
られ、と  
場でたえ  
す技術に  
方につい  
ては名人  
芸といっ  
てもよい  
でしょ  
う。

の視野に  
つけるク  
モ糸のは  
り方については、木村先生の『観測心得』にもくわしく書いてありますが(木村・天文観測心得、一八五〇一八七ページ、物理実験学所収、河出書房、一九四〇年)、クセと云はる子供に近いものを山に行つてさがしてきて、これが果を張る前にくるちょうどカリコのまゆを小さくしたようなものから、一本一本糸をとり出してよりもどすのです。これをレコードの針でガイドしながら望遠鏡の視野にはりつけるコツなど、非公開な部分も多いのですが、この技術はドイツあたりの流れをくむものらしく、木村先生がもつてこられたものだと思います。

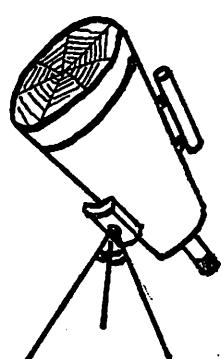
## 日本の観測者

定価 380円

昭和38年2月10日 印刷  
昭和38年3月15日 発行

編著者 吉郎三  
発行者 本居和  
印刷者 根土福

発行所 東京都新宿区三茶町8  
株式会社 恒星社厚生閣  
振替 東京 59600番



▶ 藤井悦子さんより

(クモの会)といふ会への入会案内をいただきました。  
現在の会員数は、19名です。談話会の皆さんで入会希望の方は下まで連絡して下さい。

《クモの会》へどうぞ

およそ4億年前 地球に森が生まれる頃 陸上で空気を呼ぶとして生きる最初の重生物(ヤステ・サソリの仲間)が現れました。やがて水辺の魚から陸へ上がれる魚が更にそれらから堅い鱗をつけたままの両生類が誕生した時既にクモはカタツムリやトンボ等と共にシダ植物への森林の中でくらしていました。

古生代半ばからの長い渦旋に耐えたクモのくらしは大変おもしろいものですが十分に知られていない点が多いたくさんあります。また一応は調べられていても実際に観察する比やや暗昧だったり全く違っていることが少なくてありません。

さあ野外へ出て太古の謡に包まれたクモのくらしを探りそのすぐれた本能を見極めましょう。そしてクモにかかるさまざまな生物(もちろん人間も含めて)へ目と耳を向ければ自然のしくみ社会のしくみについて考えてゆきましょう。

私達はクモが好きな人はもちろん クモが嫌いな人 クモが恐い人も歓迎します。入会を希望される方は住所氏名電話番号を明記の上 年会費1,000円をえてお申し込み下さい。たましいに参加なさった方は往復ハガキで御連絡されれば翌月の御案内をいたします。但採集標本づくりは御遠慮下さい。

〒272 市川市中国分1-18-20 藤井方  
Tel. 0473-71-4008

クモの会

活動としては毎月の観察会と  
THE WONDER LAND OF SPIDERS、クモの世界、という  
会誌の発行のようです。



はえヒリぐも



# 心探究のもの呼び起こすこ

○内容は豊かな風景ですが、二十数年前に理科教諭をしていて、学校で、三年生がオトシブミの発表を持ち込み、これがギッカケで児童と二歳以上の木に親睦です。自然の魔物でないから

# 受賞に輝く人と作品

## 選考委員会

福岡良英（成蹊大教授）、近藤正夫（学習院大教授）、鷲谷筑（東京都立図書監修官）、木小牧（神宮靖子（青山学院大教授）、富田義雄（文教大教授）、中谷勲（洋画家）、渕川道夫（東京成徳短期教授）、深沢紅子（洋画家）△本社側：佐藤喜本郎氏・野地一児（編集局説説文化部長・小池英夫

○…「オトシブミ」は、おとぎの民話ですが、クリの姿を巧みに筆で描き、幼虫の姿をかわしく表現する。人間でも虫を描く力が、自然防衛本能の持主。この神秘的な生態に児童が感動と興味をもつてくれる。この出版は、児童の心を自然観察を通じて開拓、育成を知る機会として、児童のプロセスが、児童の研究心、人間形成をよくして、うなづかせられます。題詞を自然観察して、児童が感動する「カラスのおみやげ」と題されたふたつの名作はなかなかいい…と児

## 人賞の千国 安之輔さん

○…「オトシブミ」は、おとぎの民話ですが、クリの姿を巧みに筆で描き、人間でも虫を描く力が、自然防衛本能の持主。この神秘的な生態に児童が感動と興味をもつてくれる。この出版は、児童の心を自然観察して、児童が感動する「カラスのおみやげ」と題されたふたつの名作はなかなかいい…と児

童に感動をさせ、研究心を呼び起し、またがって「オトシブミ」の生態を一緒にして、研究できるようにして「キーメント手法」は、自然科学教育の新分野を開拓した「人賞」といいます。

## オトシブミ



## オトシブミ 写真と文 千国 安之輔

れるクリの姿の写真を題材に、オトシブミの生態を書いたり、題詞は文字で書かれているし、写真の写され、自然の壁に対する問題解決法の解説が、読者に理解される。著者が小学校の教師となりかわって、物語風

## 美しい文学

第二十六回サンケイ児童出版賞に花費は、一面挑戦の社會の流れが走った別冊の著賞賞が、有識者からのアンケートによる推薦、各出版社

のうちの最も多くが、選考委員会に花費をかけて、選考対象国語十音余韻のなかで選出したものである。

大賞に選ばれた「オトシブミ」は、生態観察のおもしろさとともに、ことあたに科學的なものの方、考え方をつぶさくすぐれた点であらわしが評価された。

「カマグのおみやげ」とか、「三浦のせむし」、「ボトキ」などと、風趣な題名

## 第26回サンケイ児童出版文化賞

のである。二十年にわたりて、オトシブミの研究を続行し続け、その生態を研究して来た著者の著述の強さが、何時もまた一枚一枚の文章にあらわれた。

## な表現

本篇が大賞を得たといふことの要點には、千とあるまい、ほんとの科学的なものの見方、考え方をするための主張を、具体的な構成しているからである。はじめにどうぞな感覚が手こしによって得られるようになるのがよいか。その感覚かい、またどんな感覚が田代

おじいさん、千とあるまい、ほんとの感覚でなく、實であるといふのは、オトシブミの「ようふく」に表れてゐる感覚を分析して、千とあるまいとして構成している。……

(講談社・1100円)

講談社

く発揮されている。

本篇が大賞を得たといふことの要點には、千とあるまい、ほんとの科学的なものの見方、考え方をするための主張を、具体的な構成しているからである。はじめにどうぞな感覚が手こしによって得られるようになるのがよいか。その感覚かい、またどんな感覚が田代

長野生まれ、67歳。著書に「日本アルプス山系の蜘蛛」「昆蟲の生態学研究」「チョウとガの一生」など。

第26回サンケイ児童出版文化賞  
審査(一色)を加え、次の十七点を受賞となりました。受賞は5月26日午後1時から東京・大手町の経済新聞館で行いました。

### 大賞

## 「オトシブミ 観察の本」

千国安久 輸えしがサンケイ  
児童出版文化賞の大賞を  
受賞されました  
かめでとうござります  
次回はクモでお願いします

*Theridion chikunii*

長野生まれ、67歳。著書に「日本アルプス山系の蜘蛛」「昆蟲の生態学研究」「チョウとガの一生」など。

推薦十点  
賞状 記念品



第26回の大賞に贈られる  
ブロンズ像「人と少女」(口)  
本芸術院会員・森田政廣作

大賞一点 奨金50万円 ブロンズ像

写真・文 千国 安久 著

成社

のことです

「長崎キリシタン物語」君たち  
の生きる社会 とも最終回  
を盛ったが、読者対象をつ  
きつからで出している、眞實  
と文章のバランスもいい、特に  
この現実の「まかばねがどう  
べきもの」と眞誠が挿り、  
「オトシブミ」の大賞の感質が  
決まりた。

## サンケイ児童出版文化賞

第26回受賞図書

△オトシブミ 観察の本

第五点

賞金10万円 ブロンズ像

△坂をのぼれば

写真・文 千国 安久 著

成社

△君たちの生きる社会

あまん きみ 作

長谷川 知子 著

文研

出版

△川は生きている

あまん きみ 作

伊東 光晴 著

筑摩

書房

△ねずみの いちそつ

繪・文 杉田 星 講談社

成社

△やくざの黒ひビー  
玉(赤木由子作)金の虫  
社△アカマタたちの夜  
(西野英子作)虫の社△  
ジャンボロゴの伝記  
(船井ゆき)あかね社  
小笠原△太陽の子(西谷  
健次郎作)理謙社△クロ  
ーバーくん(クリーパー  
大作、井上みゆき作)  
高橋豊△すみのくわい  
た(G・セルデン作、光  
音鶴子監修)大日本図書△  
ふれいのくわいくわい  
じいさん(井口文泰文。  
△小峰喜作△かめさん  
のさん(中谷千代子作  
・絵)朝雲閣書店△やま  
いじうした(森比左  
志文、村上義作)フレ  
ベル△大良少(大良少は  
れて)(川上作)筑摩

►藤井悦子さんより、いただきました。

アイヌ民族の神話から

(一)

ぱりちのどもが  
笑いざわめき  
泣きさわぎながら  
どれくらいの大きさに  
われわれが化けて  
人間をだましたら  
いいだろうか  
スズメぐらいいの大きさ  
われわれが化けて  
人間をだましたら  
いけないだろうか  
そう彼らが云うので  
こう私は答えた  
そんなに大きい  
体をした者らが  
見とがめられずに  
人間をだませる  
ものだろうか

(二)

私が答えると  
ぱりちのどもは  
泣きさわぎ  
笑いざわめきながら  
どれくらいの大きさに  
われわれが化けて  
人間をだましたら  
いいだろうか  
アブくらいいの大きさに  
われわれが化けて  
人間をだましたら  
いけないだろうか

(以下略)

(三)

(くり返し略)  
「カぐらいいの大きさでは  
ピうだうう」

(四)

「ブヨぐらいいの大きさでは  
ピうだうう」

(五)

「又カカぐらいいの大きさでは  
どうだうう」  
そう彼らが云うと  
私は答えた  
それならよかうう  
スカカぐらいいの大きさなら  
まずまず大丈夫だううと思う

(六)

私が答えると  
彼らは喜んで  
笑いざわめき  
泣きさわいでいた  
その窗辺  
私の道へいた小さな網  
黄金の美しい網が  
みごとに出来上った  
それを彼らがぱっとかぶせ  
一匹残らず  
網にくくくく3巻いて  
だんごにれめて  
つぶしてしまひ  
ニ度と世界に現れないようにな  
してしまった  
——と  
老いたクモが  
物語っていた。

▶ 佐藤幸子さんより

### 続、与野市大字大戸5番地のクモ

引越してから9ヶ月が過ぎました。コンクリートのテラスと庭の芝生との接境が地下茎と葉でフサフサとしており、又コンクリートへの最下部が、ボコボコと穴あきだらけ。

1978年11月、その場所をあけて見ると、いましたいたクモだらけです。まずシボケモが大中小とめちゃくちゃにいます。次にコモリグモが三種類、これは中小とコンクリートの穴に糸を張ってぐるぐるいたり出でたり。この場所はクモの越冬場所と見定め1人でニタニタしていました。

1979年1月、例の場所をあけて見ましたが、まだたまにはコモリグモだけでシボケモは一匹も見当りません。どこに行ったのか血眼になってしまったがどうしてもみつかりませんでした。

2月もだめ……。

3月 いつどこからかいづれか  
去年11月に見たと少しもちがわぬ  
有様で、コモリアモ・シボケモが大中小  
ぞうぞうと動いている間に今度は、  
でっぱり太ったヤミイロカニグモが仲  
間入りしています。

4月、アリが目立ち始めました。例の場所もアリの住居でした。今まで太って元気の良いアオオビハエトリが仲間入り。そしてネコハエトリとヨダシハエトリが時々姿を現します。コクサケモの小さいのがショコナコ左往右往しているので誰かにたどられてしまわないかと心配です。そんな具合で今自分で何をしてよいのか非常に困っています。

昨年7月から今日までかかる  
クモの種類、次の通りです

ミスジハエトリ、ツラヒゲハエトリ、ネコハエトリ、  
アオオビハエトリ、マミヅロハエトリ、キレハエトリ  
カラスハエトリ、カラスハエトリヨダシハエトリ、  
オオハエトリ、アサヒハエトリの仲間 アリゾモ、  
タイリクアリゾモ、オビメグモ、バガビメズモ  
ヒロハヒメグモ、ヤホシヒメグモ、スネグロオガ  
ヒメグモ、ユカタヤマツコケモ、キシルウエタテ  
グモ ツグモ、オニグモ、イエオニグモ、  
ズケロオニグモ、ウズグモ、シボケグモ、ヒラ  
タグモ、ネコハグモ、キハダカニグモ、ヤミ  
イロカニグモ、ハナグモ、ワカバグモ、アサ  
ヒエビケモ、アズマヤケグモ、シモフリヤチ  
グモ、メガネヤケグモ、セムニアカムネグモ  
ニセアカムネグモ、クロケングモ、クサグモ  
コクサグモ、シヨウカウグモ、アツマキシダ  
グモ、イオウイロハシリグモ、ヤマトフクコグモ  
ネコグモ、シモフリミジングモ、ウココ  
アシナガグモ、エビチャケムリグモ、  
ウズキコモリグモ、カイゾクコモリグモの一體  
コモリグモの新種、キヨヒメグモ

以上。

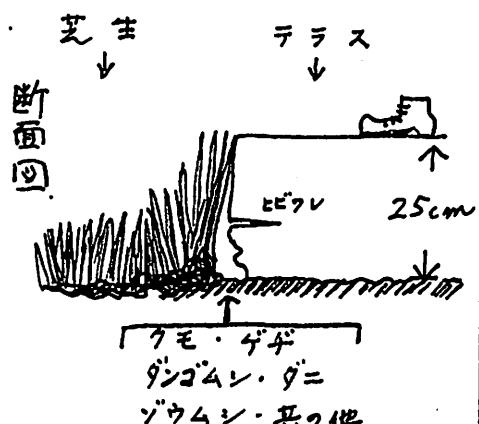
### 「続恋のニーズン」

10月、ネコハグモ、コクサケモ、  
シモフリヤチグモ

11月、アズマヤケ、

5-6月 シボケモ、ヤミイロカニグモ、  
エビチャケムリグモ。

(4月にシモフリヤチグモのみが出て  
来ただのですが、パルプが入つて  
ありませんでした。)



## 掲示板

### KISHIDAIA 編集局が

6月24日の総会におきまして  
以下のように変更になりましたのでお知らせいたします。

住所 〒357 埼玉県飯能市本町5-4  
氏名 島田 慎一

これからKISHIDAIAの原稿等  
は、島田さん宛にお願い  
いたします。

## 慶事板

國見 裕久さんが去る  
3月21日に結婚されました。

新婦の名前は不明。教えてくれませんで  
新居は錦糸町とのこと。

### お問い合わせ

通信27号の住所変更の欄で  
東亞蜘蛛学会が談話会の会員の  
ように扱われておりますので  
ここにこれをお問い合わせいたします。

### 東亞蜘蛛学会

〒567  
大阪府茨木市西安成  
2-1-15  
追手門学院大学生物学研究室

### ・会員について

今年度も6月が終りました。  
今年度会費未納の方は、  
なるべく早目に事務局まで  
お願いいたします。

一般	2,800円
中高生	2,000円

振り込み 東京 7-74885  
事務局

東京都国分寺市本多1-6-6  
シンカ写真館内 新海栄一

### 編集後記

通信がお手元にとどくのが、  
たいへん遅くなりまして  
申し訳ありません。

原稿が少なく困っております  
のでよろしくお願ひします。  
尚、発行に際しての全責任は松浦  
にあります。

## 東京蜘蛛談話会

通信 28号

1979年 6月 30日 発行

### 本部

〒191 東京都日野市豊田1896

萱嶋 泉子 TEL. 0425(81)7128

発行責任者: (原稿受付)

〒211 神奈川県川崎市中原区

苅宿 612

松浦 祐司 TEL. 044(422)2842